

目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	人材育成	職員の介護技術・知識の向上に努めます。また、新人教育の為、全体研修として「認知症とは」の初期の研修を始め、職員全体としても勉強する。	まずはさざなみ全管理者が初任者研修での研修を行い、介護技術の修得をし、さざなみ全職員へ落とし込みを実地しています。平行に、大池橋独自の研修も行っています。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等の意見を反映する	新人も含め、来訪されたご家族に対し、気軽に声掛けや、悩みが聞ける雰囲気作りに努める。また、ご利用者様自身も悩みなどが言える雰囲気をつくる。	2か月に1度の運営推進会議にて入居者様も3名参加して頂き、意見交流を図っています。また、ご家族様に対しても、来訪時や毎月の請求書の中にお手紙を入れ、ご本人様の様子などを伝えています。	12ヶ月
3	5	身体拘束をしないケア	職員同士での介助の方法の見直しを行う	身体拘束委員会を設置し、毎月開催をし、報告・研修を行う。また、研修の中で職員同士での注意や認め合いを行えるように環境を整えています。	12ヶ月
4	42	口腔内の清掃維持	職員の声掛けにて、毎食後に口腔ケアをして頂く。また、食事前には、口腔体操を行う	毎日・毎食、ご利用者様にお声かけをし、実地を促す。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。